



AYRSHIRE FIDDLE ORCHESTRA

エアシャー・フィドル・オーケストラ



Ayrshire Fiddle Orchestra (エアシャー・フィドル・オーケストラ)はスコットランドの音楽・文化大使として、スコットランド、英国、そして世界中の聴衆の皆様が楽しんでいただけ、見識も広がるような演奏をさせていただきます。



1986年からインターナショナル・コンサートツアーは私たちオーケストラの活動の戦略の一部になっており、伝統的なスコットランドの音楽と踊りを米国、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、中国、南アフリカ、北欧、ヨーロッパ本土へと世界に届けています。

私どもの(ヴァイオリン)オーケストラは長年にわたり、世界の数多くのエキサイティングな場所で演奏活動をして参りました。それはスコットランドの議会、ウエストミンスター宮殿(英国議会の議事堂)、欧州議会であったり、又シドニー(オーストラリア)のオペラハウス、ワシントンD.C.(米国首都)のホワイトハウス、南アフリカのテーブル・マウンテン(*ケープ・タウンのシンボルの観光名所。日本の富士山的な神々しい存在とされている)と、その付近にあるロベン島(*世界遺産で有名。別名「監獄島」とも呼ばれノーベル平和賞を受賞したマンデラ氏が収容されていた場所。)でも、活動をしてきました。そしてニューヨークのブロードウェイ、パリのエッフェル塔、更には、欧州原子核研究機構(*スイス・ジュネーブ郊外にフランスとの国境をまたいで設置されている)の大型ハドロン衝突型加速器のサイトでも行ってきました!

今年、2018年7月に、私どもはスペインのバルセロナを訪れます。また、2019年7月には次の主要な国際的イベントとなる、「ライジング・サン・ツアー」として日本の東京、京都、広島で演奏会を行います。

地元、スコットランド、エア(*スコットランドの南西部に位置し、英国の人口第4位であるグラスゴーからは電車で約70分)においてはタウン・ホールでの定期的なコンサート以外

にも、エアシャー郡での数多くのチャリティや市民イベントのサポートをし、またオリンピックの聖火やコモンウェルス・ゲームズ(*英連邦に属する国や地域が参加して4年ごとに開催される総合競技大会)のバトンリレー等で演奏するという特権を受けたり、スコットランド国際エアショーの最中にフラッシュ・モブ(*インターネット上や口コミで呼びかけた不特定多数の人々が申し合わせ、雑踏の中の歩行者を装って通りすがり、公共の場に集まり前触れなく突如としてパフォーマンスを行うこと)も行いました。

Ayrshire Fiddle Orchestra (エアシャー・フィドル・オーケストラ)は、独立系の慈善団体として登録されています。スコットランド、エアシャー郡すべての若い弦楽器奏者に門戸が開かれており、会費、授業料は無料で、入団のための費用も必要なく、参加のための財政的な障壁は全くありません。団員のツアーの旅費も、企業の業績やイベントによる収入、コンサートや商品の販売による収益、様々な資金集めの活動でまかなわれています。

また、我々オーケストラの音楽を楽しんでくださる個人の方々や慈善信託、財団等からの寛大なサポートにも大きく依存しております。

もし皆様が私どもオーケストラの活動をサポートくださる場合は、「Just Giving」<https://www.justgiving.com/ayrshirefiddleorchestra>のページをご覧ください。

皆様の私どもオーケストラへのご理解とご協力、ご厚意に心より感謝申し上げますとともに、2019年7月にコンサート会場で皆さまにお目にかかれるのを楽しみにしております。



Ayrshire Fiddle Orchestra (エアシャー・フィドル・オーケストラ)の連絡先:

Email: Wallace Galbraith MBE: wallace@fiddleorchestra.com

Kathleen Terras: secretary@fiddleorchestra.com

URL: www.fiddleorchestra.com

FB: <https://ja-jp.facebook.com/AyrshireFiddleOrchestra/>

Twitter: @ayrshirefiddle



(英文と日本語の内容が異なる場合は、英文が本来の意味となります。)